

〔科目名〕 教職実践演習	〔単位数〕 2 単位	〔科目区分〕 教職課程(必修)
〔担当者〕 内海隆・鈴木郁生 UCHIUMI Takashi・SUZUKI Ikuo	〔オフィス・アワー〕 時間: 授業開始時に明示する 場所: 614 研究室(鈴木)・504 研究室(内海)	〔授業の方法〕 演習
〔科目の概要〕 本科目は、多くの学生が教育実習を終えている 4 年生の秋学期に開講される。すなわち、教職課程の締めくくりとして位置づけられる科目である。この授業を通して、教員に必要とされる知識技能修得の確認、およびこれまでの学修を統合・深化し、実践的な力としてもらいたい。そのため、教職の意義や責任に対する意識、社会性や対人関係能力、生徒理解と HR 経営、教科内容への理解と指導力などに関する主体的な学習の場とする。 具体的には、4 年間蓄積してきた履修カルテを用いて自分の知識技能を確認し、学習すべき内容を自ら選ぶ。また演習を中心とし、学生の討論、発表などに重点をおくものにする。更に、教育実践に対する理解と意識を深めるために、模擬授業や学外での見学なども行う。		
〔「授業科目群」・他の科目との関連付け〕・〔なぜ、学ぶ必要があるか・学んだことが、何に結びつくか〕 「教職実践演習」の主旨は「当該演習を履修する者の教科に関する科目及び教職に関する科目履修状況を踏まえ、教員として必要な知識技能を修得したことを確認するものとする」となっており、本学でもこれを踏まえた授業展開を行う。そのため教職課程の全科目のまとめを行うことになる。教員としての資質・技能を見直し、将来手にする教員免許状に相応しい力を身につけて欲しい。		
〔科目の到達目標(最終目標・中間目標)〕 これまでの学修の確認と深化を中間目標として掲げる。最終的には、高校教員としての豊かな資質、単に教科の指導力だけでなく、幅広い教養、社会的関心、人間関係形成のための基本的能力、対人関係を形作るコミュニケーション能力、生徒や子どもから信頼感を得られる人間性などを身につけることを期待する。		
〔学生の「授業評価」に基づくコメント・改善・工夫〕 おおむね良好な評価であった。今後も展開を工夫し改善に努めたい。		
〔教科書〕 なし		
〔指定図書〕 『倫理』東京書籍 2 東書 倫理 701 『倫理』東京書籍 2 東書 政経 701 『詳述政治・経済』実教出版 政経 702 『最新政治・経済』実教出版 政経 703 『詳述倫理』実教出版 倫理 702 『高等学校 政治・経済』第一学習社 183 第一 政経 706 『高等学校 倫理』第一学習社 183 第一 倫理 705 『高等学校 新倫理』清水書院 35 清水 倫理 703 『高等学校 政治・経済』清水書院 35 清水 政経 704 『倫理』数研出版 104 数研 倫理 704 『政治・経済』数研出版 104 数研 政経 705		
〔参考書〕 授業時に適宜紹介する。		

<p>〔前提科目〕 なし。 ただし、履修カルテの記入が条件となる。そのため授業開始前に、履修カルテを完成させておくこと。</p>	
<p>〔学修の課題、評価の方法〕(テスト、レポート等) 授業参加態度、授業貢献、レポート等の課題を通して、総合的に判断する。</p>	
<p>〔評価の基準及びスケール〕</p> <p>A:100～80点 B: 79～70点 C: 69～60点 D: 59～50点 F: 49～ 0点</p>	
<p>〔教員としてこの授業に取り組む姿勢と学生への要望〕 学生自身が考え、理解を深めていけるように学生の主体性を引き出す授業を心掛けたい。受講者も未来の教師として、積極的に課題に取り組んでもらいたい。</p>	
<p>〔実務経歴〕 該当なし</p>	
<p>授業スケジュール</p>	
第1回	<p>テーマ(何を学ぶか):オリエンテーション・模擬授業準備 内 容:授業展開についてのオリエンテーションを行う。そして、次回以降の模擬授業の内容を決め、授業展開を考察する。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第2回	<p>テーマ(何を学ぶか):模擬授業準備 内 容:模擬授業にむけて、資料および指導案作成を行う。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第3回	<p>テーマ(何を学ぶか):模擬授業1 内 容:選択した教科・科目について、模擬授業を行う。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第4回	<p>テーマ(何を学ぶか):模擬授業2 内 容:選択した教科・科目について、模擬授業を行う。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第5回	<p>テーマ(何を学ぶか):教職に関する学修の振り返り 内 容:履修カルテを基に、教職課程に関する学修の振り返りを行う。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第6回	<p>テーマ(何を学ぶか):学習テーマの設定 内 容:教職課程に関するグループ学習を行う。そのテーマは、各自履修カルテを基に設定する。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第7回	<p>テーマ(何を学ぶか):調査結果のグループ内発表及び討論 内 容:調査したテーマについて、グループ内で発表し、討論を行う。</p>

	教科書・指定図書
第8回	<p>テーマ(何を学ぶか):調査結果の発表および討論 内 容:調査したテーマについて、授業全体での発表を行う。また、学外学習についてのガイダンスも行う。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第9回	<p>テーマ(何を学ぶか):学外学習 内 容:学外施設を訪問し、見学学習を行う。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第10回	<p>テーマ(何を学ぶか):学外学習 内 容:学外施設を訪問し、見学学習を行う。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第11回	<p>テーマ(何を学ぶか):学外学習の振り返り 内 容:グループ活動として、学外学習についての振り返りを行う。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第12回	<p>テーマ(何を学ぶか):学外学習の振り返り 内 容:グループ毎に学外学習について討論し、それを基にした発表を行う。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第13回	<p>テーマ(何を学ぶか):教材作成 内 容:特定のテーマについてグループ毎に教材を作成し、幅広い授業・HR 展開について考察する。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第14回	<p>テーマ(何を学ぶか):教材作成・発表 内 容:作成した教材について発表、模擬授業を行う。</p> <p>教科書・指定図書</p>
第15回	<p>テーマ(何を学ぶか):教職に関する資質能力の確認と総括 内 容:授業での学習内容と履修カルテを基に、教職に関する各自の資質能力を確認し総括する。</p> <p>教科書・指定図書</p>